

自閉症総合援助センター 萌葱の郷

ASSIST



～芽吹く未来へ～

◆社会福祉法人萌葱の郷「いぬかい保育園」

当法人は、これまで地元犬飼町をはじめとする豊後大野市の皆様のご理解やご支援のもと、主に障がいに遭われている方々の支援につとめてまいりましたが、平成24年度4月より、豊後大野市4保育所民間移管に際し、公立として58年間運営されてきた犬飼保育園を引き継いで運営させていただくことになりました。私たちは、これまで得てきた福祉サービスのノウハウを保育事業に生かし、安心とご満足をいただける経営を目指すとともに、地域の活性化と子育て支援サービスに貢献していきたいと考えております。まだまだスタートしたばかりで、皆様にご支援いただく機会も数多くございますが、未永く「いぬかい保育園」をご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012.8.1 発行
VOL.2



原点



理事長 五十嵐 康 郎
(全国自閉症者施設協議会会長・日本自閉症協会副会長)

高校3年生の時にボランティア活動で訪問した知的障害児施設で、初めて自閉症児に出会ってから半世紀が経とうとしています。その頃、水上勉氏の「拝啓池田総理大臣殿」で、重い障害のある子どもに対して、殆ど国の支援がないことを知りました。びわこ学園や島田療育園などの重症児施設を見学し、一部屋に何十ものベッドが所狭しと並べられていたり、ゴムの前掛けをして長靴を履いた男性職員が女性の入浴介助をしたり、プライバシーや人としての尊厳が守られていない現状を目の当たりにしました。高度経済成長によって世の中は豊かになりつつありましたが、障害のある人がこんな非人間的な生活を強いられる社会は真に豊かな社会ではないと思いました。

そんな体験から障害福祉に携わろうと考えるようになり、滝乃川学園児童部重度棟に就職し、重い知的障害のある自閉症の子どもたちと出会いました。重度棟は、部屋のガラスや壁、天井が破られ、ベニヤ板が打ち付けられ、昼間でも薄暗く、汚物が染みつき、畳がむしりとられた狭い汚い部屋は座敷牢のようでした。鍵付で外出の機会もなく、自傷、他害、器物破壊、パニック、不潔行為とこれまでに経験したことのない世界でした。私が就職する前年に十数名の職員が退職したと聞きました。障害の軽い利用者から、「先生はいつ辞めるんですか」と聞かれ、辞めるつもりが無いことを伝えると、「こんなところに長くいると人間が駄目になる」と忠告されました。

私は自閉症についての知識は全くありませんでしたので、とにかく清潔で普通の暮らしを保障したいと考えて、窓や壁、天井を補修し、徹底的に掃除をして、戸外を散歩したり、機能訓練やお絵かきなどの活動に取り組みました。ボランティアを募って、遠出や外泊にも取り組みました。

労働条件が劣悪なために次々と職員が入れ替わっていく状況では利用者の人権や福祉は守れないと考えて、職員の労働条件改善に取り組み、地域の学校への就学や利用者の人としての普通の暮らしを目指して生活見直しなどにも取り組みました。小規模・非分類で家庭的な暮らしを実現し、気軽に買い物や外出ができるように運営の体制も改善しました。

労働条件が改善され、福祉の仕事が普通の仕事になりましたが、支援者の視点から一方的に指導・訓練するという発想に限界を感じていた時に石井哲夫先生の「受容的交流療法」に出会って、療育や支援のみならず、全ての対人関係（援助）の基本は、安心感と信頼関係に基づく「やりとり」（交流）であるということに気付かされました。

障害のある人の主体性や意思決定を尊重するという趣旨から、支援者＝単なる介護者という極端な発想もありますが、「受容的交流療法」は、共生社会を実現するうえで最も重要な課題である「重い知的障害や自閉症の人たちへの意思決定支援」における基本的な理念や実践のあり方を提起していると考えています。

県政ふれあいトーク

大分県では、知事が地域に出向き、地域の方々と直接対話する「県政ふれあいトーク」が毎月開催されています。

4月18日、広瀬勝貞知事が、どんこの里いぬかいと大分県発達障がい者支援センター イコールを視察され、発達障がいを持つ当事者やその保護者の方々とお話しされました。発達障がいの早期発見、幼児期からの早期療育の必要性、発達障がい者の就労と障害年金の問題などに深く頷かれていました。

当事者の方々との対話では、どんこの里いぬかいの利用者から「税金の納め方をわかりやすくしてほしい」「仕事が続かなかったりするので、うまくやれるような制度を作ってほしい」などの要望が積極的に出されました。それに対し、自分に向いた仕事を見つけることの重要性や、それを行政がバックアップすることの必要性などのお話があり、利用者の方それぞれに温かい言葉をかけられていました。

利用者のWさんは「緊張しましたが、お話しできてとても嬉しかったです」と笑顔で感想を述べてくれました。



ほっとはーと大分

知ってほしい私たちのこと ～発達障がいの理解と支援～



※弁当作りの作業（番組内より）

ほっとはーと
Orna

5月12日、大分県広報番組「ほっとはーと大分」（TOS テレビ大分・毎週土曜日 11:25～11:40）にて、発達障がいの特集が組まれ、就労支援施設どんこの里いぬかいと、めぶき園が取り上げられました。

発達障がいの理解と支援についての詳しく説明や、どんこの里いぬかいとめぶき園での作業風景、利用者の方のインタビュー、自閉症のお子さんを持つ保護者の方からのメッセージ、今年度の県の取り組みについて放送されました。

利用者の方々は、テレビの取材に朝から緊張気味でしたが、普段通りの動きを心がけ、集中して作業に取り組んでいました。

尚、この放送は、ホームページ「めじろん放送局」にて、放送後1年間視聴することができます。

☞ http://www.mejiron.tv/channel/4/video_detail.php?vc=133698546346

発達障がい者の就労について

大分県発達障がい者支援センター ECOAL

副センター長 佐藤 任孝

「発達障がいの特性を理解して就労支援を行うこと」どの文献にも多く記されている内容です。特性のひとつとして、彼らは裏表のない方が多く、適当に関わるわけにはいきませぬ。適当に付き合うことは可能かもしれませんが、そのような気持ちでは伝わらないし、続かないことを我々は知ることが大切です。あと、視覚優位な人が多いのも事実ですので、話しをするだけでなく、書き出して示すことや書いてもらうことも有効な手段です。

他にも自ら言動を起こすことが苦手な人も多くいますので、日時や曜日を設定し、チェックリストを作成して振り返りを行うことなども有効です。このように特性を理解して支援をおこなう場合には、学習能力や言語能力を中心に考えるよりも、本人の特性である社会性の障がいを支援の中心に考えることが最も重要だと思えます。共感性を主とする対人関係の力は社会生活を営む上での基礎となり、相互関係を築く上では自己肯定感を多く積み重ねることが生きる力となります。

そして、実際には本人が話したり聞いたりしている内容がどのくらい適切に伝わっているのかを常に考えて支援する必要があります。一般就労をする場合に必要なこととして、私は彼らが自分自身への振り返りが行えること、他者に委ねる気持ちをもてるのがポイントとなってくるかと考えています。何もかもを障害だからとして捉えるのではなく、このような支援は必要であるが、他者の意見を聞き入れる必要もあると思えることが大事です。（そのような場面が社会では必ずあるからです。）彼らと話しをすると、共感性が乏しいため社会的場面での適切な認知がしにくいながらも、人との関わりを求めています。人との多くの失敗や叱責から自分の長所について気づいていない人が多く、自己肯定感が低い人が多数います。まずはできること、できる仕事を一緒に探していくことから始めていきたくと常に考え支援しています。





「自他を知り 違いを受け容れ 思いやる」

いぬかい保育園 園長 五十嵐 猛

他人の気持ちを想像することに苦手意識を持ち、人との関わりを避けて暮らす若者が増えています。しかし、社会で生きるには、他者との関わりを避け続けることは難しいため、生きにくさを抱えて苦しむ若者が後を絶ちません。

私は、これまで障害児通園施設や発達障害者支援センターの諸侯を務めながら、人との関係に困難を抱えて苦しむ人の相談を数多く受けてきました。そうした中、人が人間として生きるために大切なことは、自分と他者との違いを知り、それを受け容れていくとともに、仲間と支え合える関係を築ける力を持つことであると認識しています。そして、この力を育てるためには、幼児期に家族や地域の方々に見守られている「安心感」や変化に対応できる「創造性」を育むことが重要であり、それを地域の中で実践するのが保育所の役割であると受け止めています。

なぜなら、私たちがこども達の表面的な行動だけに捉われず、一人一人の「マインドストーリー」を理解し、橋渡しするとともに、個々の発達に応じた社会体験の場を設定することにより、こども達が自分とお友達との違いを理解しながら相手の立場を考えたり、思いやりを持って人との信頼関係を創造しながら人権を大切にできる社会人に育つことが期待できるからです。

そのため、職員研修をすすめることはもちろんですが、私たちの専門性を高めるだけではなく、家庭を始めとする地域や関係諸機関の方々と共に子育てを考えられるようなコーディネートを行うことが保育所長の役割であると受け止め、保育所を通して地域における子育て支援の活性化をすすめてまいる所存であります。

☆保育理念☆

子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す

☆保育目標☆

- 明るく伸び伸びした子ども
- 思いやりのある優しい子ども
- よく見よく考える子ども
- 喜んで話し喜んで聞く子ども
- 心豊かで工夫する子ども

☆保育方針☆

- ① 家庭や関係機関と連絡をとりあい、安心感を育てます。
- ② よく食べ、よく遊び、しなやかに丈夫な身体を育てます。
- ③ のびのびと成長・発達する心を育てます。
- ④ 自分を大切にし、お友だちの個性が理解できる知識を育てます。
- ⑤ 聴く力、考える力、ゆたかに自己表現できる才能を育てます。
- ⑥ 身近の自立の基盤となる生活習慣を育てます。
- ⑦ お友だちの気持ちや集団生活のルールを考える力を育てます。

☆保育時間☆

AM7:00～PM7:00 (月～土)

☆定員☆

60名 (在園児 64名、0歳児 5名、1歳児 8名、2歳児 13名、3歳児 13名、4歳児 13名、5歳児 12名)

☆保育内容☆

通常保育、一時保育、延長保育、障がい児保育、子育て支援センター

☆設備☆

乳児室、ほふく室、保育室、遊技室、調理室、医務室、沐浴室、便所、事務室、職員休憩室、職員用便所、倉庫、廊下、子育て支援センター、屋外プール

☆その他☆

アレルギー対応、除去食、代替食、保護者会
園庭開放 (平成24年7月現在)

「めぶき園でおいもの苗を植えたよ!!」

めぶき園の利用者さんと職員が、芋の苗を植えやすいようにと、準備をしてくれていました。当日、めぶき園職員が「これは何～だ?」と芋の苗を見せると子どもたちは、元気よく「ほうれんそうー!!」と答え、みんなで大笑い!!とても楽しい雰囲気です。芋の苗を植えることができました。

めぶき園利用者さんの作業所も見学してもらい、空き缶潰し体験や、陶芸・機織りも見学して「空き缶潰し、やりたーい!!」「すげー!!」などなど、めぶき園に親しみを持ってもらえたようです。





いぬかい子育て支援センター

電話：097-578-0706

メール：youyoukids@moeeginosato.net

平成 24 年度より、社会福祉法人萌葱の郷がいぬかい保育園とともに、子育て支援センターも引き継ぐことになりました。今年度から、職員を二人体制にして、幅広い相談や支援に応じていきたいと考えています。これまで支援センターをご利用されてこられたみなさまはもちろん、お知り合いで子育てに悩みや不安などを持たれている方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。よろしくお願いたします。

Q. いぬかい子育て支援センターってどんなところ？

- A. 保護者の方と一緒に楽しく安心して遊べる場を提供しています。その他にも、子育てで困っていることや、悩みを気軽にご相談下さい。育児講座・育児講演なども年 3～5 回程度行っているため、子育てについて一緒に考えてみませんか？子育てサークルのお手伝いもしています！気軽にご利用ください。

Q. いぬかい子育て支援センターを利用するには？

- A. 支援センター <月～金曜日 9:30～14:30> 土・日・祝日は休みです。
面接・電話相談 <月～金曜日 9:00～14:00>

保健師・保育士と育児についてお話しができます♪その他に、身体計測・保健講話・親子クッキングがほどあります。

日	月	火	水	木	金	土
休み	園庭開放 9:30～11:00	おしゃべり広場 (第一週の火曜日) 子育て広場 10:00～11:30	オープンスペース 9:30～14:30	園庭開放 9:30～11:00	オープンスペース 9:30～14:30	休み



楽しめる行事を計画しています。誕生会・製作遊び・遠足・講師の方を招いての『子育て座談会』ほどあります。

Q. 対象年齢はあるの？

- A. 保育園や幼稚園に通っていない、0歳児から就学前のお子さんと保護者になります。プレママさんも大丈夫です。気軽にあそびに来て下さい♪♪



平成 24 年度 いぬかい保育園 年間行事

- 4月・開所式
・第1回入園式
・保護者の会総会
・おみしり遠足
・移動図書館(毎月1回)

- 5月・観劇

- 6月・芋の苗植え
・歯磨き指導
・健康診断(内科・歯科)
・幼保交流保育

- 7月・七夕笹飾り・縁日ごっこ
・プール開き
・幼保交流保育

- 8月・プール納め

- 9月・運動会練習

- 10月・乗馬教室・運動会
・さくら組社会見学
・芋ほり遠足

- 11月・秋の遠足
・親子バス遠足
・焼き芋パーティー
・だんご汁大会
・健康診断(内科・歯科)

- 12月・もちつき大会
・消防広場
・老健施設ケンコーさん訪問
・クリスマス会

- 1月・鏡開き・お楽しみ会
・交流保育

- 2月・豆まき・クラス懇談会

- 3月・思い出遠足
・お別れ会食会
・第1回卒園式



『2歳児さんのかわいい会話』

保育士：「蚊に刺されたの？」
Aちゃん：「うん！かんに刺されたの！」「かい～」
*それをきいた・・・B君は、
B君：「え!!カニにちよっくんされたん？」
Aちゃん：「ちがう！かんに刺されたの！」
B君：「カニに刺されたん??」「痛い??」
Aちゃん：「かいいよー!!」
ふたりの会話がとてもかわいらしかったです♪



『しっかりしているね♪5歳児さん』

C君：「うあーおりゃー」
D君：「ばしーん!!おりゃー」「まだまだ!!こいー」
保育士：「危ないよ。痛くない?」
C君：「大丈夫、戦いごっこしよんだけやけん」「なー♪」
D君：「なー!!」と、にこにこの二人。
*傍で戦いごっこを見ていたEちゃん♪C君とD君を見て…
Eちゃん：「この番組はまた次週!」
「どっちが、泣くやろうか～」
実況中継がとても上手で、くすっとなる場面でした♪

Pick Up!

発達障がい者支援専門員

養成研修初級

開講式

平成 24 年度大分県発達障がい者支援専門員養成研修初級の開講式が 6 月 9 日に行われました。ご協力いただきました関係機関の皆様には深く御礼申し上げます。

開講式では、大分県障害福祉課の池永哲二氏、大分県発達障がい者支援センター連絡協議会・運営委員長釘宮誠司氏（医療法人謙誠会・博愛病院院長）にご挨拶をいただき、その後、初回の講義として、大分県自閉症協会会長の平野互氏、大分県教育庁特別支援教育課・指導主事兼主幹（総括）の清末直樹氏よりそれぞれご講演いただきました。

平野氏の講義では、発達障がい児への支援のポイントやライフステージにおける組織的・包括的な支援、保護者への支援の重要性など、親の立場から専門家に求める支援についてお話しいただきました。清末氏の講義では、特別支援教育の基礎や考え方、法改正について、発達障がい児の学校における困りとそれを支援する側の対応のポイント、特別支援学校における巡回相談などについてお話しいただきました。

初級の受講生の方々は、真剣に講義に耳を傾け、両講師のお話に傾かれたり、懸命にノートを取られたりと非常に熱心でした。受講生の W さんは「選ばれたからには精一杯がんばります」とおっしゃっていました。今年度は、講義と現場視察研修が予定されています。これから 3 年間、よろしくお祈りします！



初級カリキュラム

◆講義

初級では、6 講義の受講が必須となっており、福祉・行政・医療などの各分野の講義を受けていただきます。講義後はレポートの提出が必須となっております。

◆現場視察研修

現場視察研修では、大分県立新生支援学校、博愛病院、別府発達医療センター、大分子ども発達支援センターのうちから 2 機関選択していただき、視察研修をしていただきます。萌葱の郷の視察は必須となっております。

大分県発達障がい者支援専門員（以下 SV）とは、医療・保健・福祉・教育・労働の各分野において、発達障がい児・者のライフステージを見通した相談や支援を行う専門家です。発達障がいへの理解の促進と、県内の各地域における専門的な人材育成を目的に、県や市町村、各関係機関によって構成される「大分県発達障がい者支援センター連絡協議会」が主体となり、大分県発達障がい者支援センター ECOAL を事務局として、SV の養成と派遣を実施しています。

連絡協議会が主催する「発達障がい者支援専門員養成研修」の初級（6 講義・3 機関視察研修）・中級（4 講義・5 日間の実務研修）・上級（事例検討会、研修会、保護者会への参加）の全課程を 3 年間かけて修了し、連絡協議会の審査を通過した方々が SV として認定されます。現在 4 期生までが修了しており、105 名の SV が各分野で活躍しています。主に、福祉施設や保育園・幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校などの個別支援会議、市町村単位での相談会、親の会や各種勉強会での助言、市町村の自立支援協議会との連携のために派遣されます。



子ども発達支援センター なごみ園 —法改正に伴って—

支援係長 秋月 正博

平成 24 年 4 月 1 日から障害者自立支援法と児童福祉法の一部が改正されました。障害福祉サービス事業の児童デイサービスは、平成 24 年 4 月に児童福祉法に基づく障害児支援事業となりました。それに伴い、未就学のお子さんには「児童発達支援」と、就学児には「放課後等デイサービス事業」にてサービスを提供することになり、事業所の名称が「子どもデイサービスセンターなごみ園」から「子ども発達支援センターなごみ園」に変更となりました。以前と変わらず、手帳の有無は問わず、児童相談所、医師等により療育の必要性が認められた児童が対象で利用できますので、幅広いニーズに対応することが可能となっています。また、児童発達支援への移行に伴い、午前中の活動時間が 9 時 30 分から 13 時 30 分までとなりました。昼食サービスが始まったことで、新たに食事指導や歯磨き指導も行うようになり、より生活に基づいた支援を行えるようになりました。

< 児童発達支援 >

時間	内容
9:30	登園、自由遊び・個別活動
11:00	お集まり 集団活動・親子遊び 粗大運動・芸術活動・工作活動 等
11:40	昼食
13:30	降園

< 放課後等デイサービス >

時間	内容
15:00	登園、自由遊び・個別活動
16:00	お集まり 集団活動・製作活動 調理実習・課外活動・専門活動 等
16:30	片付け・おやつ
17:00	降園

(※土曜のみ 14:00～16:00 の開園)

また、新しく「保育所等訪問支援」という事業が始まりました。それによって、保育所や幼稚園、小学校、中学校などになごみ園の職員が訪問して、利用児童への集団適応のための支援と、訪問先施設のスタッフへの指導を行えるようになりました。

法改正はありましたが、これまで同様、ライフステージを通じた支援を職員一同心掛けて、子どもの笑顔を絶やさないサービスを提供していきます。

conversation with 近藤事務長

A：今日は、よろしくお願ひします。

近：私には、理事長やセンター長（猛さん）のような身近にすごいきっかけとなる環境があったわけではなく、人に語れるようなすごい人生経験を持っているわけでもなく、立派なきっかけなど何ともありませんので面白くなくてすみません。私なんかのインタビューでよいのでしょうか？ずっと風に流されるように人生を送ってきたので（笑）。

A：福祉を選んだきっかけは何ですか？

近：大学は教育学部の養護学校教員養成課程だったので、当然教員になるつもりだったんですが、ちょうどバブルがはじけた後で、ものすごい就職難の時代にあたって、就職が決まったところに石にかじりついてでも務めないといけないと思っていたので、拾ってくれためぶき園にはとても感謝しています。めぶき園で宿直のアルバイトをしていてよかったです。大学で自閉症の方と初めて会った時にはかなりびっくりしましたが、それから大学院までずっと自閉症の方とおつきあいがあったので、めぶき園に来た時には、知った利用者も多く、入りやすかったですね。大学でいろいろな障害の方と関わりがありましたが、自閉症の方が一番謎が多く、興味を引きました。そして、その興味は今でも続いていますので、選択は合っていたと思いますね。

A：今までに福祉を辞めようと思ったことはありますか？

近：最初にすごい思い入れをもって入ったわけではない福祉ですが、不思議と福祉をやめようと思ったことはないですね。最初に言いましたが、就職難の時代に拾ってくれた理事長に感謝の気持ちはずっとあったし、転職もそう簡単にできるものではないと思っていたので、今でもいいところで働いているという気持ちは大きいですね。今の若い人はすぐに仕事を辞める人が多いらしいですが…。私も自閉傾向があって、変化を嫌う性格ということもあるかもしれませんね。特に能力もない私をいいポジションで働かせてくれていることはとてもありがたいことです。福祉というより、職場の雰囲気が、私に合っていたんだと思います。

A：福祉を選んではいなければ、どんな仕事をしていましたか？

近：福祉を選んではいなければ…、今の私では特に能力もないので、自分の行ける場所など他にないということを感じていますが、小さいころの夢は医者でした。ブラックジャックみたいな医者になりたいと思っていました。ああ、ブラックジャックは無免許医でしたね。それで高校まで理系の方で勉強してきたんですが、風に流されるように、いつの間にかこんなになってました。理事長やセンター長みたいなすごい志を持っているわけでもないこんな私が17年も勤めているんだから、若い人にも励みになるんじゃないでしょうか？

A：支援をする上で大事にしている事って何ですか？

近：「普通」の感覚を持つことでしょうか。長年、施設の中だけにいると、その中だけの感覚に慣れてしまします。どんなに話し合いをして方針を決めても、その瞬間瞬間の対応は支援者それぞれの判断に委ねられます。その時、どう対応するのがベストなのか、声掛けするのか、様子を見るのか、止めるのか…、それは個人の感覚に委ねられるので、常に世間の常識、普通の感覚という



話し手：近藤 暢秀（=近）

聞き手：A

のを失わないように、そのために、普段から、世の中の情報や流れなど、敏感になるようにしています。やはりこれからは地域での暮らしというのを意識しないとイケないですし、利用者を世間にもっとアピールして理解してもらわないといけませんよね。そのためには、私たちが世間のことをよく理解し、感覚を磨いていく必要があると思います。やはり物も敏感にとりいれるようにしていますよ。まあそれはミーハーだからですけど。

A：今年度から事務長になりましたが、そこらへんで何かあればお願いします。

近：もともと私は理系の人間で、数字を見るのは好きで（桁が大きい数字ほど好きですが（笑））、事務仕事も私にはむいていると思うんですが、ご存じのように、私は17年間ずっと現場にいて、事務に関しては何の知識もないと素人なので…。今は死ぬほど大変な日々が続いています。いくらやっても追いつかないような状態で、慣れるまで、かなり時間がかかりそうですが、職場の職員さん皆が、私が全然できないことをわかっていて、とても協力的なのを本当にうれしく思います。皆に支えてもらわなければ、とてもやっていけてないですね。心から感謝です。かなり時間はかかると思いますが、3～4年くらいで、事務長と呼ばれるのがしっくりくるようなになれば、と思っています。長い目で見てくださいね。

A：福祉をやっているよかったと思うことはなんですか？

近：風に流されるように福祉の仕事について私ですから（笑）、もともとボランティア精神とか福祉の心をすごく持っているというわけではないのですが、この仕事は営業の厳しいノルマとかがあるわけではなく、自分のやりたいことをやらせてもらっている、きついこともあります。利用者と一緒にレクや食事に出席したり、登山やマラソン大会に参加したりしたときは楽しいです。利用者をもっと地域へ、外へ出してアピールして、理解してもらえないといけないと思うので、演奏会でハンドベルを発表して、利用者と一緒に拍手喝采を受けた時に、利用者の笑顔を見た時には、よかったと思いますね。どんなことでも利用者と一緒に作り上げたものを認めてもらう、評価してもらった時というのが一番、充実感を感じますね。

A：ありがとうございました。



障害者支援施設 めぶき園(法人本部)
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-0818
 FAX097-578-0819
 mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター らすかる

大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-1888
 FAX097-578-0819
 rasukaru@moeginosato.net



就労支援施設 どんこの里いぬかい
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-578-0077
 FAX097-578-1226
 donko@moeginosato.net



子ども発達支援センター なごみ園
 大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
 TEL097-586-8070
 FAX097-586-8071
 nagomi@moeginosato.net



いぬかい保育園(いぬかい子育て支援センター)
 大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
 TEL097-578-0706
 FAX097-578-0710
 inukai-hoikuen@moeginosato.net



ケアホームかわしま
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾3709-8
 TEL097-578-0885



大分県発達障がい者支援センター ECOAL
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-586-8080
 FAX097-586-8181
 info@moeginosato.net

編集後記

表紙の写真を撮りに行った時、良いものにしよ
 と一番高いところに登りました。納得できるもの
 と背伸びして、手を伸ばし、身を乗り出して落ちそ
 うになりながら撮影に成功することができました。



◆協力者御芳名

《物品の部》

- (株)豊肥環境センター様 牛塚龍介様
- あべよしストアー安部精一様
- (株)大分ヤクルト販売様
- (株)三洋アルミ様 河野京次様 田嶋暁明様
- 《現金の部》
- 湯田啓一様・時枝幸子様・伊美信長様
- 村上シズ子様・佐藤テル子様
- 高橋歯科医院院長藤内せい子様

(順不同)

(順不同)

◆平成23年度 めぶき園後援会名簿

- 薬師寺幸子様・遠藤三枝子様・仲間克之様
- 仲間宏之様・仲間正子様・仲間俊行様
- 斉藤友子様・濱内優誠様・堀修一様
- 高橋勝己様・山本五十六様・下川禎子様
- 田北晃明様・松田邦博様・松田浩子様
- 松田孔昭様・花宮憲央様・野田フサ子様
- 秦鉄也様・川田真一様・山田直記様
- 河野京次様・麻生なつみ様・村上一文様
- 佐々木信彰様・柿坂重治様・岡本保博様
- 山田政之様・足立義信様・安東幸一様
- 矢野丞様・徳丸展子様・衛藤成治様
- 武井清展様・河野勝征様・薬師神孝次様
- 堀美佐子様・後藤豊春様・上杉哲夫様
- 佐藤和生様・川久保九州男様
- 西原廣紀様・西原加代子様・塩野 纈様
- 西尾 武様・大多和佳子様・姫野元春様
- 椎原 修様・阿南吉充様・一井浩美様
- 高松昌弘様・大分県自閉症協会様